

平成25年度 学校自己評価表

次の質問について、A～Dの該当する欄に○印をつけて下さい。					
A：よくあてはまる		B：概ねあてはまる			
C：あまりあてはまらない		D：全くあてはまらない			
質問事項		A	B	C	D
I 学校運営に関するもの					
1	【学びの場としての安全教育の推進】 ①危機管理意識の高揚、安全教育・安全活動等の取組み ②個人情報漏洩等の防止策の推進		○		
2	【環境整備の推進】 ①施設等の環境整備 ②本校ならではの取組の発信と充実及びホームページの定期的更新		○		
3	【学力向上の推進（知育）】 ①教師全員の研究授業を実施し授業力向上の推進 ②自ら学習できる力（自己教育力）の推進 ③資格・検定取得の推進 ④基礎学力（国社数理英）の向上（宅習週間の確立）		○		
4	【キャリア教育の推進（ライフキャリア・ワークキャリア）】 ①総合的な学習の時間・特別活動を活用したキャリア教育の充実 ②進路面談指導の充実 ③就職先・進学先開拓の推進（第1希望進路先の保障）	○			
5	【こころを育てる教育の推進（徳育）】 ①差別をしない許さない人権尊重の精神を育成 ②道徳教育の推進、いじめや暴力等防止と迅速な対応 ③集団行動・徳育・マナー等の指導の充実		○		
6	【体を育てる教育の推進（体育）】 ①部活動の推進 ②食育・健康・安全に関する教育の推進	○			
7	【人材育成】 ①職員研修会の充実 ②校外研修会への参加		○		
<p>今年度も、学校経営方針の大きな目標を、「授業に熱心」「部活に熱心」「資格に熱心」の3本柱とし、全職員・全生徒が「チーム都工」を合い言葉に、「未来を切り拓く、心豊かでたくましい人材の育成」を目指して、上記7つの項目を重点的に取り組んできた。</p> <p>【項目1について】</p> <p>昨年度、本校生徒が関係した交通事故が26件発生し、内1年生が16件で、2・3年生それぞれで発生した件数（5件）の3倍である。特に、1年生は慣れない通学路で、4月～6月に事故を起こすケースが多かった。事故の半数以上が右側通行によるものである。</p> <p>そのようなことから、今年度は、入学式直後及び1学期終業の日に外部講師を招聘して交通教室を実施するとともに、登下校中の接触事故等の情報が入る毎に学年単位で臨時の交通教室を実施し、特に交通マナーについて道徳的な面から生徒に訴えてきた。また、PTAと連携し、学校から離れた場所での交通指導も定期的に行っている。平成26年1月末段階で、昨年度から比べると事故の件数は減少しているが、入院に至る事故が2件、そのうちの1件が8月に発生した重大事故である。</p> <p>生徒たちの状況を観ると、信号無視や携帯電話を所持しながらの自転車運転、右側通行、併走等も目につく。このままでは、これからも重大事故の発生する可能性は否定できない。</p> <p>今後、そのようなことのないように、生徒はもとより、保護者やPTAとの連携を尚一層強化し、交通マナーの改善、事故防止に取り組みたい。（今年1月末現在の交通事故件数：16件）</p>					

【項目2について】

情報管理については、今年度も総務部が一括して管理し、ホームページも定期的に更新している。携帯電話からもアクセスできるなど保護者への学校情報の提供に役立っている。

施設面では、事務部を中心に校内の施設設備の点検を行い、不備な箇所についてはその都度整備をしてきた。その他、生徒たちが課題研究で校舎通路の側溝蓋を作成するなど、生徒の安全意識の高揚も観られるようになった。しかし、校内外でのゴミのポイ捨て等があり、今後も美化意識の高揚に取り組んでいかなければならない。

【項目3について】

授業改善の一環として、6月と10月に1週間ずつ授業公開週間を設けている。全教職員が1回以上の研究授業と5回以上の授業参観を行うようにしている。参観した授業での参考意見を集約すると、指導方法や内容について参考になったという意見が挙げられている。また、2学期中間考査終了後には、生徒を対象に「授業に関するアンケート」を実施した。授業参観で参考になった意見や「授業に関するアンケート」の結果をもとに各部署で授業改善に関する研修を実施しているが、少しずつ成果が上がっている。

【項目4について】

今年度もキャリア教育の一環として、インターンシップや企業視察、外部講師による講話を実施した。就職希望者のうち、第一希望の企業に内定したものが、昨年度は約80%だったが、今年度は85%を超える結果を残すことができた。内容も、優良企業といわれるような企業に昨年度以上に内定している。少しずつではあるが、キャリア教育の成果がでてきているものと思われる。

【項目5について】

人権教育の学習内容は、いじめ、ネット上のいじめ、偏見や差別、部落差別、進路保障に係る内容を中心に、各学年とも各学期1回ずつ実施した。今年度も、生徒を対象とした「いじめ・悩みに関するアンケート」を定期的実施してきた。そこでは、明確ないじめや暴力等は確認していないが、いじめに繋がる可能性のある「からかい」等を数件確認し、早期の対応をしてきた。その他、携帯電話による生徒間の様々な課題が目立つようになってきた。これからも、保護者の協力を得ながら携帯電話の利用のあり方については指導をしていきたい。

道徳教育についても、授業や特別活動等、いろいろな機会を捉えて指導にあたっている。特に、本校は工業高校であるので、生徒たちには、「ものづくりは、こころづくり」ということを強調している。引き続き「心豊かでたくましい人材の育成」に努めていきたい。

【項目6について】

現在、運動系、文化系、技術系、合わせて29の部が年間を通して活動している。そのなかで、今年度も多くの部活動が県内各種大会において上位の成績を上げることができた。全国上位に向けたさらなる努力が望まれる。

【項目7について】

今年度も、コンプライアンスに係る研修、救急法、人権に関する研修、授業改善についての研修、進路指導に関する研修、セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント防止に関する研修、特別支援が必要な生徒の指導に関する研修、生徒と職員を対象にした防災教室等を実施した。また、今年度は、教職員の資質実行プランに基づき、教職員の資質能力と学校の教育力向上を目指してOJTの推進を呼びかけてきた。

今後、更なる教職員の資質向上に努めていきたい。